



なすびの花

地震・災害への備え

5月6月の工場パトロールのテーマは、

「災害対策(主に地震)」と「頭上の安全」です。

まず、「**頭上の安全**」については、本社・第二工場共に、設備などの腐食や劣化も見当たらず、問題はありませんでした。

今年の春以降に、何度も亀岡が震源とされる、震度3〜4の地震が発生していましたが、現在しばらくは止まっていますね。

近年起こるであろうと言われている、南海トラフ巨大地震や、直下型地震など、地震は日本中のどこでいつ起こるか分かりません。

パトロールでは、棚の転倒対策や、社内の連絡体制や、備蓄品について確認しました。

本社工場内の部品や機材などが置かれている全ての棚に、製造課長が金属プレートで制作された固定具による棚の固定が施され、しっかりと転倒防止対策がされていました。



棚の上部分

第二工場倉庫内の部材棚にも、固定具が付けられ、転倒防止対策が施されていました。

備蓄品についても、従業員の災害時の帰宅困難を想定した食料や飲料水が、6月に大量購入され、備えられています。

届いた食糧備蓄品



1箱分の中身 (3日分)



さて、皆さんのご自宅でも備蓄や家具の固定など、対策はされていますか？

大きな地震が発生すると、家具の転倒と共に、家電が2メートル以上飛んだりして、大ケガの危険があります。

家具の固定とともに、家電も固定したり、耐震マットを敷いたり、対策をしておきたいですね。

自然災害は、いつどこで発生するか分かりません。

警視庁のツイッターで話題になった、百円ショップ

などで購入できる500mlの透明ボトルに、防災グッズを詰めて持ち歩くというアイデアを見て、私も作ってみました。



左の写真のように詰めて持ち歩いています。中身は、

ホイッスル・圧縮タオル・ミニライト・ビニール袋・絆創膏・アルコール消毒シート・ネココ

レイト
となっています。

防災に対するの準備なので、中身は応用を利かせて、自分流にアレンジして、自助のために備えてはいかがでしょうか。

車中泊セットも、ホームセンターなどで売られています。

こちらも、自己流でうまく作って、自分の車に備えておくのも良いと思います。

会社の備蓄と対策、家庭での備蓄と対策、そして防災用ボトル、車中泊セットと備えてあれば、安心感が高まります。

いざという時のために、まずはできるところから、準備しておきましょう。

ISO品質と環境の外部監査

今年もISO外部監査の時期となりました。

2日間の予定です。

今年も、品質：9001が、更新審査で、環境：14001が維持審査となります。

審査員の方の来訪はなく、リモートでの審査となります。

会議室にて、部署長と事務局が対応しますが、工場内や、事務所、倉庫、廃棄物置き場につきまして、スマートフォンでのカメラでのライブ撮影により、審査員の方とつないでの現場確認なども行われます。

当日の作業中に、カメラが通るかも知れませんが、普段通りに作業を行っていただいで大丈夫です。